



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

しあわせ

あるきはじめてたばかりの坊やは
歩くことで しあわせ

歌をおぼえたての子どもは
うたうことで しあわせ

ミシンを習いたての娘は
ミシンをまわすだけで しあわせ

そんな身近なしあわせを
わすれがちなおとなたち

でも 一こころの傷を
なおしてくれるのは
これら 小さな

小さな しあわせ

高田 敏子



4.5歳児の遠足は雨のため室内での遠足ごっこになり、手作りのお弁当は部屋で食べました。その後、遊びの中で遠足ごっこがみられ、お弁当を作るなどの姿があったようです。こどもたちは「真似をする」ことから様々なことを学び、自分自身のものにしていきます。きっと、お弁当を作っていた保護者の姿は魅力的だったのでしょう。愛情のこもったお弁当を食べて「しあわせ」を感じたのではないのでしょうか？

せたがや小鳥の森保育園の特徴のひとつ、わらべうたについて、今月はとりあげました。

保育園では年間を通じて月1回、加藤先生にわらべ歌の指導に入っています。先日、加藤先生と一緒に、幼児クラスのわらべうたを見学しました。Rさんは、昨年輪からはみだす姿がありましたが、5歳児になった今年は手をつながない3歳児に何度か手をつなぐよう声をかける姿がありました。年長時になり、年下の子にルールを伝える姿を見られて成長を感じました。

6月の予定

6月	1日(木)	眼科検診	(午前中)
	2日(金)	2才児懇談会	
	8日(木)	健康診断	
	9日(金)	0才児懇談会	
	14日(水)	身体測定	
	15日(木)	耳鼻科検診	(14:30～)
	20日(火)	体験保育	
	22日(木)	健康診断	
	29日(木)	歯科検診	(午前中)



お知らせ

*6月28日～30日まで、烏山中学校の中学生が、職場体験で入ります。

*もうすぐプールあそび

今年も乳児園庭に幼児のプールを出す季節となりました。

水遊びを始める前に職員は研修に行ったり、日赤の講習を受けたり、いざという時のロールプレイを職員会議でしたりして備えています。改めて水の事故は特別な時ではなく、普段の保育の中で起こる可能性があり、だからこそその時にどうするのか、すばやく対応できるようにしたいと思いました。後日、くわしいお手紙を出します。



心を育てる“わらべうた”を小鳥の森保育園では大事にしています

わらべうたは代々歌い継がれてきた伝承音楽のひとつで、文化遺産とも言えるものです。お腹の中で聞いて育った母親の心臓の音のように、わらべうたの鼓動は、子どもにとって自然で心地よいものであり、母のぬくもりがあります。小さい子どもにとってわらべうたが適していることの一つは、音域が狭くて聞きやすく、子どもの声帯に無理なく歌いやすいことです。また歌詞が単純で幼い子どもに合っています。

短い詩やとなえ、手や顔あそび、ひざ乗せあそびなども楽しめます。目と目を合わせ保育者の肉声で一人ひとりに向けてうたいます。幼児になれば、友だちとコミュニケーションをとりながら遊び、音楽教育とともに秩序を育てます。